

頁	行	誤	正
10	下から1行目	○構造的変状: <u>硬化後の偶発的な変状</u>	○構造的変状: <u>たわみ, 変形, 振動</u> ○損傷: <u>硬化後の偶発的な変状</u>
18	下から8行目	○ <u>ブリージング</u> が多いコンクリート	○ <u>ブリーディング</u> が多いコンクリート
44	図-2.1 2列目	化学的 <u>変化</u> 物理的 <u>変化</u>	化学的 <u>劣化</u> 物理的 <u>劣化</u>
49	10行-11行	で、コンクリート標準示方書[<u>施工編</u>]では1.2kg/m ³ としている。	で、 <u>2007年制定</u> コンクリート標準示方書[<u>設計編8.3.7</u>]では1.2kg/m ³ としている。
80	11行	(B)静水との接触の場合は、流水との <u>緩触</u> の場合より…	(B)静水との接触の場合は、流水との <u>接触</u> の場合より…
227	図-5.18	(縦軸) <u>電流</u>	(縦軸) <u>電位</u>
270	下から1行目	(図タイトル) 問題構造の基本 <u>系</u>	(図タイトル) 問題構造の基本 <u>形</u>
296	17行	・コンクリート…。 (追加)	・コンクリート…。 <u>③対策後の維持管理計画</u> <u>・大規模修繕計画の策定&10~15年に一度の実施</u> <u>・5年程度/回の外観目視調査の実施</u>
297	(3)問3の解答例	問3: <u>今後20年間使用するのに</u> 必要な調査項目と対策について示す。必要な調査項目は、①ひび割れ発生状況、②浮き・剥離状況、③鋼材(鉄筋)の腐食状況 <u>があり、必要な対策として</u> 、①約0.2mm以上のひび割れは、ひび割れ注入工法による補修、…含浸材塗布工法などの適用 <u>で</u> 、とくに水分の侵入を防止することが重要である。 <u>場合によっては</u> 、電気防食工法の適用やコンクリート表面の洗浄による <u>表面の塩分量</u> を除去するなどがある。(以上) <u>10行256字</u>	問3:必要な調査項目と対策、 <u>維持管理計画</u> について示す。必要な調査項目は、①ひび割れ発生状況、②浮き・剥離状況、③鋼材(鉄筋)の腐食状況 <u>である</u> 。必要な対策は、①約0.2mm以上のひび割れは、ひび割れ注入工法による補修、…含浸材塗布工法などの適用 <u>がある</u> 。とくに水分の侵入を防止することが重要で、 <u>必要な場合は</u> 、電気防食工法の適用やコンクリート表面の洗浄による <u>表面塩分</u> を除去するなどがある。 <u>維持管理計画では、大規模修繕計画策定と修繕(約15年/回)、外観目視調査(約5年/回)の実施が重要である</u> 。(以上) <u>12行299字</u>